

(S2018-18 用)

研究課題名	カテーテルアブレーション治療周術期および術後における経口 Xa 阻害薬リバーロキサバンの有効性および安全性評価のための後ろ向き観察研究
研究期間	西暦 2018 年 11 月 13 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	非弁膜症性心房細動患者におけるカテーテルアブレーション治療周術期および術後の経口 Xa 阻害薬リバーロキサバンの有効性と安全性を、カテーテルアブレーション治療実施後遠隔期までの後ろ向き観察研究によって検討・評価します。
研究方法	先行研究である「非弁膜症性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療周術期における経口 Xa 阻害薬リバーロキサバンの有効性及び安全性評価のための登録観察研究」(2014 年 11 月)にご協力いただいた患者さんを対象に、カテーテルアブレーション治療実施 1 ヶ月以降遠隔期の抗凝固療法の成績・経過をカルテにて確認させていただきます。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。この研究にご自身の情報を使用されることに同意されない方は、担当医師へご連絡ください。解析対象から除外させていただきます。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません(公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院 循環器内科 副部長 井上 啓司 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)